

三原市立宮浦中学校第3学年 英語科学習指導案

単元名：LESSON 4 The Story of Sadako

指導者：三原市立宮浦中学校 吉田 祐介

- 1 日 時 : 平成29年9月26日(火) 第5校時
2 場 所 : 3年2組教室
3 学年・学級 : 第3学年2組(38名)
4 単元名 : LESSON 4 The Story of Sadako

(1) 単元観

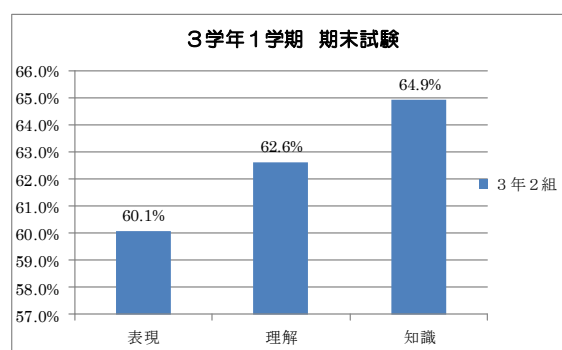
この単元では、核兵器と平和の問題が題材となっている。核兵器が人間に与える影響や平和を希求する人々の活動について知ったり、教科書本文の物語を読んで要約文の技法を習得したりする。

言語材料としては、SVOCの文型とIt is ~ (for A) to ...の構文(以下It ~ to構文と表記する)が新出となっている。SVOCの文型をとる動詞はそれほど多くなく、この単元ではcall, makeの2つの動詞を用いた例文が取り上げられている。It ~ to構文は「…することは～だ」という意味を表すが、この表現は日常生活で頻繁に使われている。生徒にとって自己表現の幅が大きく広がることが期待される単元である。

また、本校CAN-DOリストの「書くこと」の「短い英文の物語を参照しながら、その要約文を書くことができる。」や「読むこと」の「時間順に書かれた物語を読んで、その内容を時間を追ってまとめることができる。」につなげて、要約文を書く力も養うことができる。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

右のグラフは、平成29年7月3日に実施した期末試験の結果である。当学級はどの観点も平均を上回っており、基礎的な力が備わっていると考えられる。しかし、表現の能力を問う問題では、無解答であったり、語順がばらばらであったり等、英文を正しく書く力が定着していない生徒が多い。英文を書くことに苦手意識を強く持っていたり、英語の構文を理解していなかったりすることが要因だと考えられる。個人思考では難しい課題でも、ペアやグループ活動では、相談したり助言したりして、課題を解決しようとする姿が見られる。



(3) 指導観(指導改善のポイント)

本校の研究テーマは『資質・能力の育成をめざした学びの創造』～コミュニケーションを活用した授業の工夫を通して～』である。これを受け、この単元において、コミュニケーションを活用して、生徒に基本的な知識を習得させるとともに、表現力と協調性の育成を図っていく。

表現力の育成の手立てとして、毎時の授業の導入で、既習事項の定着を図っている。SVOCの文型とIt is ~ (for A) to ...の構文を定着するために毎時間口頭練習をしたり、構文を視覚で確認できるよう板書を工夫したりしている。本学級の生徒全員が挑戦できるような段階を踏んだワークシートを用いて、知識習得を向上させたい。そして、基本的な文の形を理解させ、生徒が興味を持っている人や物について表現させる。語彙力が乏しかったり、間違いを恐れたりなど、英語で表現することに苦手意識を持っている生徒が多い。そういった苦手意識を克服させるために、授業では主語と動詞をはっきりさせたり、生徒が作成した英文を机間指導でアドバイスしたりしている。また、発音することに苦手意識を持っている生徒も多いので、日頃から発音する機会を増やし、声量、発

音、ジェスチャー等の相手意識を持たせたい。新出単語の発音や教科書本文の音読、ペアトークやスキット発表等を通して、英語を使う機会を増やして、苦手克服に努めている。また、指導者による Classroom English や英問英答の多用化、生徒のつぶやきやミスを拾い上げて上手く活用する授業の深化、生徒の学習意欲向上のための肯定的評価など、生徒が英語を使いたいと思うような場面を作る。

(4) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識】	【スキル】	①課題解決能力	②表現力
【意欲・態度】	③主体性	④協調性	【価値観・倫理観】 ⑤公共心

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の1点に重点を置く。

【意欲・態度】 ④協調性

グループで意見を交流し、他者の意見を自分のアイディアに取り入れたり、1つの作品に仕上げたりして、協力して取り組むことができる。

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

○SVOCの文型と It is ~ (for A) to ... の文構造を理解できる。

○物語の要約文を書くことができる。

単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①間違ふことを恐れず積極的に要約文を書いている。	①気持ちをこめて物語を音読することができる。 ②時を表す語句を使って、物語の要約文をできごとの順に書くことができる。	①物語を読んで、その概要を読み取ることができる。	①SVOCの文型と It is ~ (for A) to ... の構文に関する知識を身につけている。

6 指導と評価の計画

全9時間 (本時は9/9)

次	学習内容 (時数)	主な学習内容				資質・能力の評価 (評価方法)	
		関	表	理	知		
1	GET Part 1 (2) 課題の設定 情報の収集				◎	・SVOCの文型に関する知識を身につけている。 ②表現力 (ワークシート)	
2	GET Part 2 (2) 情報の収集 課題の設定				◎	・It is ~ (for A) to ... の構文に関する知識を身につけている。 ②表現力 (ワークシート)	
3	USE Read (2) 整理・分析 実行 まとめ・創造・表現		○			◎	・気持ちをこめて物語を音読することができる。 ・物語を読んで、その概要を読み取ることができる。

4	USE Write (2) 整理・分析 実行 まとめ・創造・表現	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・間違ふことを恐れず積極的に要約文を書いている。 ・時を表す語句を使って、物語の要約文をできごとの順に書くことができる。 	
5	文法のまとめ (1) 振り返り 本時 1 / 1 まとめ・創造・表現 課題の設定		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・SVOCの文型と It is ~ (for A) to ...の構文に関する知識を身につけている。 	②協調性 (行動観察)

7 本時の展開

(1) 本時の目標

既習事項を用いて、3文以上の英文でクイズを正確に作成することができる

(2) 観点別評価規準

◎SVOCの文型と It is ~ (for A) to ...の構文に関する知識を身につけている。【エ①】

評価方法：発表，行動観察，ワークシート

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
④ 協調性	<p>A 多様な他者の考え方や立場を受け入れ、自分の考えと比較し、調整することで最善解を見いだそうとしている。</p> <p>B 自分と異なり意見や立場を大切にし、よりよい解決に向けて協力して取り組もうとしている。</p> <p>C 相手の意見を受け止め、よりよい解決に向けて協力して取り組もうとしている。</p>

(4) 準備物

ワークシート，辞書，写真，ホワイトボード，マーカー

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○育成しようとする資質・能力 ●教科の評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ (調子，日付，曜日，天候，時刻)の確認，Q&A) ○既習文法の復習 (口頭練習) ○本時の目標の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ◆発音が定着していない生徒の進捗状況を見て，該当生徒のそばにつき，助言等をして支援する。 	
<p>【本時の目標】既習事項を用いて，3文以上の英文でクイズを正確に作成することができる</p>			

展 開	○モデル文の提示	個人思考	■指導者のモデル文を聞いて、クイズ作成の参考にさせる。	②協調性 (行動観察) 自分と異なる意見や立場を大切に、よりよい解決に向けて協力して取り組もうとしている。
	○ワークシート① (英文作成)		■個人思考 (英文作成) →ペア活動 (相互確認) をさせる。 ◆文法事項が定着していない生徒の進捗状況を見て、該当生徒のそばにつき、助言等をして支援する。	
展 開	○ペア協議	集団思考	■お互いが作成した英文をチェックし、訂正箇所を指摘したり、修正方法を助言したりする。	
		まとめ・創造・表現		
	○グループ協議		■文章の内容につながりがあるかどうかを確認させるための声かけをする。	
	○発表		■学級全体に伝わるような声を出すよう指示する。	
展 開	○ワークシート② (メモ)		■文法ミス等、学級全体で考えさせるような声かけをする。 ■ワークシート②をオリジナル文章作成練習のための教材にするよう伝える。	
ま と め	○本時の振り返り	振り返り	■SVOC の文型または It is ~ (for A) to ...の構文について、生徒作成文を使って、音読練習をさせたり、構文を確認させたりする。	●SVOC の文型または It is ~ (for A) to ...の構文を用いて、英文を書ける。
	○次時の連絡			

(6) 板書計画

September 26 th Tuesday sunny 13:30	Today's Goal	LESSON4 で学習した文法を使って、3文以上の英文で吉田先生に正解されないクイズを正確に作ろう。		
call A B 「AをBと呼ぶ」		生徒作成文 (グループ)	生徒作成文 (グループ)	生徒作成文 (グループ)
make A B 「AをBにする」		生徒作成文 (グループ)	生徒作成文 (グループ)	生徒作成文 (グループ)
It - for ... to ~ 「…が～することは～だ」		生徒作成文 (グループ)	生徒作成文 (グループ)	生徒作成文 (グループ)
モデル文用 写真	モデル文	生徒作成文 (グループ)	生徒作成文 (グループ)	生徒作成文 (グループ)